

大牟田市・荒尾市合同開催 景観発見ツアー報告



本市では、景観資源を守り育てる取り組みを総合的活計画的に推進するため、景観法に基づく「景観計画」を策定しています。そこで「景観資源について知り、学び体験できる」取り組みのひとつとして、景観発見ツアーを開催しました。

今年は、大牟田市と荒尾市に關係する三池炭鉱関連資産が世界文化遺産登録一周年を迎えたことを記念し、両市合同で開催しました。両市の市民の皆さんとバスで三池港、三川坑跡、万田坑を巡り、三池港からは船に乗って、海上から旧長崎税関三池税関支署等の歴史的景観、有明海などの自然景観や臨海部の工場群や人工島三池島などを見学し、炭坑景観をはじめとした両市の景観を味わっていただきました。以下に、「午後の部」の景観発見ツアーの様子をご報告します。

開催日：平成28年11月26日(土)

参加者：59人

市役所出発（12：50）

① 三池港（クルージング約50分）

② 三川坑跡見学

③ 万田坑見学

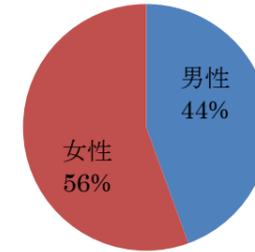
市役所到着（16：15）



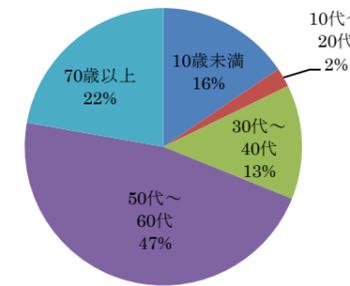
参加者アンケートの結果

小さいお子さんからお年寄りまで、様々な方にご参加いただきました。参加いただいた皆さんのアンケートを見ると、参加者全員が「楽しかった」という回答をいただいています。また、ほとんどの方が今回のツアーをきっかけに景観への関心が高まり、また参加したいとお答えいただきました。ご協力ありがとうございました。

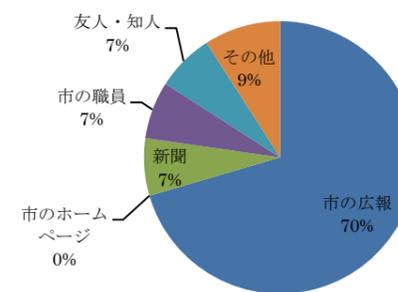
1. 性別



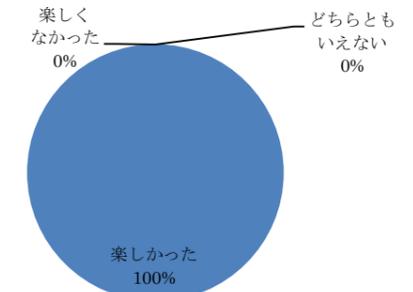
2. 年齢



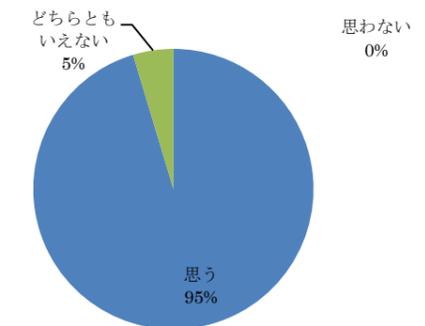
3. ツアーを知ったきっかけ



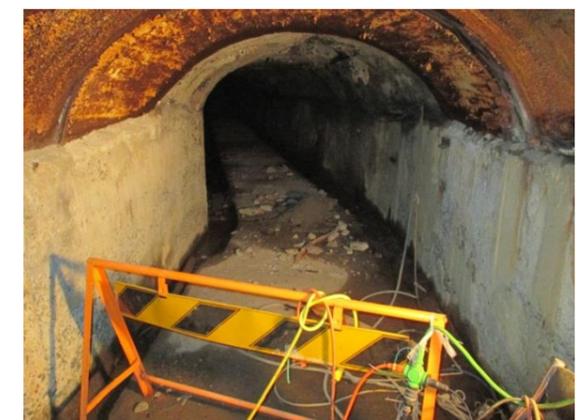
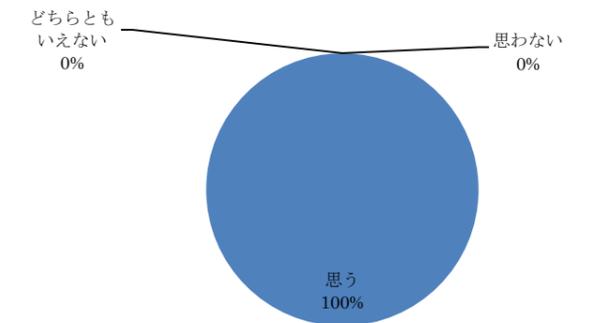
4. 参加した感想



5. ツアーに参加して景観への関心が高まったか



6. また参加したいか



当日のコース【午後の部】



参加者の皆さんの感想（アンケートより 一番印象に残った場所や感想）

- 三池港閘門を海から間近に見て感動した。偉大
- 三池港クルージング、説明がとても良かったです。
（初島にも行ってみたいですね。）
- 三池港閘門の造り
- 三池港の長い歴史に驚き今後も継続される事を願っています。
- 三池港のゆったり感がすごい。
- 三池港人工島など見れて良かった。
- 三池港のことがよくわかった。人工島まで船で行き、海底に坑道があったことがわかった。
- 初めて船で三池島へ近くまで見れてスゴイと思いました。
何かツアーなどして観光資源にもなりそうだなと感じました。
- 海上見学、今日回った所、すべてに感動しました。有難うございました。
- 大牟田は、炭鉱のイメージがありますが、炭鉱で働いていた方々は、お仕事大変だったと思います。万田坑は建物が凄く立派でした。

- 三川坑は大牟田市民として特に紹介してほしい。
- 三川坑の広大さ
- スタッフの皆様ありがとうございました。細かい気づかいなどとてもうれしかったし、安心してツアーできた事に感謝します。
これからもよろしくお願いします。☆運転手さんありがとう。
- 今回参加させていただいたことで大牟田・荒尾の町に親しみを感じました。皆様の地元を大切にされている気持ちを感じました。
- 古いものの中に深い価値がある。ただ華やかなものだけが世界遺産ではなく。
- ガイド担当者が良く説明してくれた。
- 近くなのに、たて坑の中までくわしく説明頂き勉強に成りました。
- 三井三川坑は保存すべき昭和の遺産だと思います。
- 三川坑跡で昔、炭鉱で働いていた人達の風景が目浮かぶ様な感じでした。
- 親が炭鉱だったのでなつかしく思いました。
- 炭鉱の滑車、建物の古さ

- 船のエンジン音で説明がほとんど聞こえなかった。残念！
- 三池港クルージングで船の中での子供さんへの注意が必要。
- 三川坑の中はポンプ室の周辺がいつも乱雑でゴミや個人の昔の持ち物が散乱している。
- 3、4年前、三池炭鉱に見学に来ましたが以前とちがい観光用にされてビックリしました。残念なことに大プロがなかったのが・・・
- 三川坑内はヒールの女性や年輩者は通路が整備されていないので歩きにくい。
- 世界遺産で町を盛り上げるには設備は不十分だと思った。
説明がわかりやすく、炭鉱が少し身近に感じられた。